

## 鎌倉市における戸別収集のあり方について方針（素案）の説明会概要

令和6年3月3日（日）18時30分から19時30分 鎌倉生涯学習センター2階ホール

参加者19名

- 1 ごみ減量対策課担当課長挨拶
- 2 方針（素案）の説明
- 3 質疑応答

Q 戸別収集になると車や人はどのくらい増えるのか。ごみ箱は必ず用意しないといけないのか。

A 現在の1日の燃やすごみ収集では、平均車20台、人は40人程度である。戸別収集になると最大で車34台、74人必要になる見込みである。1万世帯規模であればもう少し少ない。容器は家にある不要なものを使用いただき、新たに購入いただく必要はない。モデル地区では毛布をごみに被せていた方もいた。

Q この資料にはメリットしか書いていない。モデル地区は渋滞がおきるところではない。車がどのくらい集まって名越や今泉に搬入するのかなど、全体的な説明がされていない。モデル事業の時のデータだけではわからない。

A 山ノ内の小袋谷の交差点から建長寺に行く道はかなり渋滞する。名越は中継施設整備のためその間は今泉CCへごみを持っていく。焼却は逗子市で行うので、どのエリアのごみを逗子市へ直接持って行くか、今泉への搬入についても載せ替えをする等工夫して搬入台数を減らすようにする。

Q 自宅前がクリーンステーション（以下、CSという。）で動物被害に困っている。他の方は見て見ぬふり。自分が毎回片付けをしている。早く戸別収集になってほしい。ネットボックスもこれから無くなるのか。

A 燃やすごみが戸別収集になっても、容器包装プラスチックのためにネットボックスを使ってもらうことはあると思われる。容器包装プラスチックも動物被害を受ける品目であるので、優先的に戸別収集としていきたいと考えている。

Q 1万世帯はどこの地区なのか。

A 高齢化が進む地域や子育て世帯が多く居住している地域、過去のモデル事業を実施しており円滑な導入が可能と思われる地域、施設までの運搬距離が短い地域や燃やすごみの収集日を月・木、火・金で車や人の数を平準化できる地域を先行エリアとして検討する。

Q 他の自治体（直近、海老名市）で戸別収集をやってどういう結果だったのか（コストの変化など）資料に入れてほしい。京都では夜間収集を行っている。渋滞を考慮し、小町通り

など日が暮れてから収集をするというのも考えてほしい。

A 他市の情報は、随時情報収集し資料への記載も検討する。小町通りや大船、長谷は朝一で収集することを考えている。

Q 収集日の変更はあるのか。

A 燃やすごみは収集回数を見直すことは出来ないが、新聞については収集量が減少しているため、今後収集回数の適正化を図ることも検討している。

Q 1万世帯から全市展開までに出た課題は全市展開の時に反映させるのか。

A 次年度予算計上時までには反映できると思う。

Q 燃やすごみ（戸別）だけしっかり出して、CSに出す容器包装プラスチックは分別しないで出す人がいるのではないか。モデル事業の時はどうだったのか。

A モデル事業は容器包装プラスチックを含む3品目だった。不適正排出が酷いCSについては、職員を重点的に配置するなど対応を考えたい。

Q 共同住宅（4世帯くらい）のCSはどうなるのか。

A 新規CSを作り、そこからは戸別収集品目のみ収集し、従来からのCSは燃やすごみ以外のごみを収集する。

Q 指定収集袋はもう使わなくなるのか。

A 指定収集袋の導入の経緯はごみの減量のため。指定収集袋は引き続き使用する。

Q 鎌倉山は民泊が多い。その日にごみを取りに来てくれないと動物被害が心配。

A 民泊のごみは事業系ごみになる。事業系担当と適切に対応していく。